

外国語表現の能力（話すこと）

プロトタイプ E

単元：

We're Talking 7

評価の観点（技能）：

外国語表現の能力（話すこと）

評価規準：

Can you ～? で「～してくれませんか」と人に何かを依頼する会話を行うことができる。

評価方法：

【スピーキングテスト（ダイアログ）】Exercise の skit とパラレルなタスクを行う。

教師と生徒のロール・プレイによるテストを行う。携帯電話を 2 台用意し、1 台は生徒に、もう 1 台は教師が持つ。カードを生徒に見せた後に、教師が生徒を一人ずつ面接する。

留意点

テストの際は、生徒がもとの教室に戻って情報交換をすることのないように、人の動きに配慮する（教室 1 に待機させ、教室 2 で試験実施後、教室 3 に移動させる。また、待機中およびテスト終了後に行う課題を与えておく。）ことが必要である。

評価基準：A・B・C の 3 段階

A：Can you come to the concert with me today? と言って、友達に依頼できていると同時に、待ち合わせや時間などの打ち合わせもできている。

B：Can you come to the concert with me today? と言って、友達に依頼できている。

C：依頼することができていない。

評価課題：

ロール・プレイ・カード

あなたは友達の Tom / Mary（教師の性別に応じて名前を決める）に電話をします。電話で、今日コンサートに一緒に行ってもらうように頼んでみましょう。あなたはチケットを 2 枚持っています。

あなたから電話をかけると、友達が出ます。

解答例：

Teacher: Hello.

Student: Hello. This is (生徒の名前).

Can I speak to Tom / Mary, please?

Teacher: Speaking. What's up?

Student: Can you go to the concert with me?

Teacher: Sure. Do you have the tickets?

Student: Yes. I have two tickets.

注意点

基本的には、授業で学習した skit を元にした会話である。したがって、あまり自由度は求められない。ここでの評価対象は、Can you go to the concert with me?の部分なので、それ以外の部分の出来は評価基準に到達しているかどうかの判断には影響を与えない。